村上市立平林小学校　学校だより NO.6　　令和７年８月２９日

わかみどり

http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp

平林小学校　校長　遠藤　直人

２学期からの家庭学習についてのお知らせ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび本校では、２学期より従来の「一律に全員が同じ内容に取り組む宿題」を見直し、家庭学習の在り方を大きく変えることといたしました。

本校が目指すのは、子どもたちが自分で課題を見付け、自ら学びに向かう「自律した学習者」の育成です。これまでの宿題の主な目的は、「学習内容の定着」と「学習習慣の定着」にありました。しかし、画一的な課題では、すでに理解している子にとっては意味が薄れ、苦手な子には負担が大きすぎることがあります。真に学びを定着させるためには、一人ひとりの理解度に応じて、自分にとって必要な学習を自ら選び、取り組む力――すなわち「自己調整力」を育てることが重要です。

また、「学習習慣」を本当に身に付けるためには、「やらされる学習」ではなく、「自分で決めた学習」である必要があります。現に、OECD の調査などでも、日本人は大人になると学び続ける時間が他国に比べて非常に短いという傾向が示されています。これは「やらされる学習」が多かったことに一因があるのではないかと考えます。

今後は、子どもたちが自分で計画を立て、必要な学習や活動に取り組むスタイルへと移行していきます。家庭学習の目安として、「学年×10 分＋5 分」（例：3 年生は 35 分程度）を基本としますが、その時間配分や学習内容については、自分にとって最も意味のある学びに調整できるよう、柔軟に対応してまいります。場合によっては、読書や趣味の活動などに時間を充てる日があってもよいと考えています。もちろん、教職員はその過程を丁寧に支援してまいります。ご家庭におかれましても、ぜひお子さんの学びについて声をかけていただき、一緒に成長を見守っていただければ幸いです。

Q&A

Q1. 宿題がなくなると、学力が落ちるのではないでしょうか？

A1. 一律の宿題をなくすことは、「学習をしない」という意味ではありません。本校では、一人一人が自分に必要な学習を自ら選んで取り組むスタイルに移行します。学年・学年部ごとに「１週間の家庭学習プランニングシート」を作成し、それをもとに計画を立てる指導を学校で行います。自分の理解度に応じた課題に取り組むことで、学習の定着はむしろ効果的になります。

Q2. 子どもが何も学習しなくなるのでは？

A2. その心配がないよう、子どもたちには学校で「学習の振り返り」や「自分の課題の見付け方」「家庭での学習計画の立て方」を丁寧に指導していきます。各学年でプランニングシートを活用し、教員とともに１週間の見通しを立てます。家庭学習の時間の目安としては「学年×10 分＋５分」を基本としていますが、その時間の使い方は、子ども自身の学習の目的や状況に応じて柔軟に調整できます。あえて学習をしない日を設定し、読書や趣味、創作活動など、自分の関心を広げる時間として過ごすこともあります。こうした経験が、長期的に主体的な学びを支えていくと考えています。

Q3. 家ではどんなことをさせればよいですか？
A3. 基本的には、お子さん自身が立てた計画に沿って学習や活動に取り組むことになります。内容は、ドリルや音読などの従来の学習に加え、読書、調べ学習、創作、日記、さらには家事の手伝いや自然観察なども含まれる場合があります。保護者の方には、「どんなことをやっているの？」「どうしてそれを選んだの？」と対話を通してお子さんの考えを引き出していただけるとありがたいです。

Q4. 子どもがだらけてしまうのでは？
A4. やらされる学習から、自分で選んだ学習へ。これは簡単なようで難しい挑戦です。しかし、このプロセスを通して、自分の時間の使い方を考える力や、やるべきことをやり抜く力が育っていきます。プランニングシートに記入した目標を振り返ることで、自分の学びに責任をもつ意識が育っていきます。教員も定期的にチェックしながら、必要に応じて励ましや修正の声かけを行います。

Q5. 宿題がないと、生活リズムが崩れないか心配です。
A5. 生活リズムの形成はとても大切です。だからこそ、本校では「家庭学習の時間も自分でコントロールできる力」を育てたいと考えています。決まった時間に、たとえ短時間でも自分の計画に沿って何かに取り組む――その積み重ねが生活習慣を整えることにつながります。ご家庭でも、時間の区切りや学習環境の整備についてご協力いただけますと幸いです。

Q6. すべての子どもにとって有効な方法なのですか？
A6. 子ども一人ひとりに合った学びの形は異なります。プランニングが難しいお子さんには、教員が一緒に考えたり、目安となる活動例を提示したりしながら支援します。また、日によっては「今日は学習はお休み。好きな本を読んでみる」「何かを作ってみる」など、子ども自身が興味・関心を広げる時間を選ぶこともあります。こうした柔軟なアプローチが、結果的に自律した学びにつながると考えています。
※<u>この取り組みの目的は「宿題をなくすこと」ではなく、「子どもが自ら学ぶ姿勢を育てること」です。</u>
ご不安な点がございましたら、いつでも学校にご相談ください。

<u>引き続き、下記のリンク・または QR コードからご意見・ご質問をフォームでお聞かせください。お電話等でも随時、お待ちしています。</u>
https://forms.gle/hQwLNPLjjAzfwkV57

平林小学校では、持続可能な社会の実現に向けた「SDGs」の観点から、紙資源の節約を目的として、保護者の方には、学校からのおたより（学校だより・学年だより等）をすべてデータにて配信しております。これまで地域の皆様には、月１回、学校だよりを回覧板にてご覧いただいておりましたが、**次回より、本校ホームページ及び告知端末に掲載する形式**へと変更いたします。この変更により、回覧板でのお知らせよりも**よりタイムリーに、学校の様子をお伝えでき、見たいときにいつでも何度でもご覧いただける**ようになります。また、学校だよりの発行回数を柔軟に増やすことが可能となり、教育活動の充実した情報を迅速にお届けできると考えております。なお、「紙面での閲覧を希望される方」には、引き続き個別に紙媒体での配付対応をさせていただきます。ご希望の方は、恐れ入りますが学校までご連絡ください。今後とも、平林小学校の教育活動への温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平林小学校ホームページ　http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp/index.html